

知る人ぞ知る 大三島の隠れ家



鍋島 悠弥さん

【プロフィール】

家族構成：鍋島悠弥（オーナー）／路（妻）
まろ（ペット）

大阪府出身

2012年に移住

（2012～2014年は地域おこし協力隊）

【仕事内容】

ゲストハウス経営&農業

大学では農村地域に関する研究をしていました。研究者目線ではなく一住人として地域に生きることに憧れを抱くようになり、2012年の春に地域おこし協力隊として大三島の盛集落へ移住しました。3年間という限られた任期のなかで、盛という地域独自の祭、行事、自然、人に触れ、

心から「かつこよさ」を感じ、本当の意味での盛の住人になるべく定住を決意しました。盛は大三島内観光ルートからは外れていますが、たくさんの魅力に溢れた素敵な集落です。Made in Omishimaにこだわり、ゲストハウスのリフォームには、すべて島内の業者の人に依頼しました。盛に暮らす人々が培ってきた歴史、文化、自然、日常、誇りを少しでも感じていただけるように、そして、肩の力を抜いて穏やかな時間を隠れ家的な当ゲストハウスで過ごしていただければと思います。

島で×グリーンツーリズムに取り組みたいと思い、まずは自分が農業を実践してみないことにはしつかりとしたことを伝えることができないと考え就農することにしました。大三島には、しつかりと農業を営んでいる方が多くいるので、農業のノウハウを教えてもらったり、農地や機械のあつせんをしてもらったりするなど、ありがたいと感じています。季節や状況にもよりますが、レモンやミカンの収穫などの農業体験が可能です。盛地域のことをより深く知ってもらうために案内することもできます。また、これから移住を考える人の相談に乗ることもできます。

グリーンツーリズムを活用しながら大三島の素晴らしさを伝え、多くの方に実りある訪れ方をしていただきたいと感じています。また、大三島には移住してくる方たちの受け皿となることが可能な農家さんも多くいます。その方たちとしっかりとつながりながら、農業を行っていきたいと思っています。

※グリーンツーリズムとは、農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のことです。

【移住を考える人へ】

大三島は自然が豊かで、人も温かくていい所ですが、正直いいところばかりではありません。過疎化・少子高齢化や交通の不便さなどの問題も抱えています。だからこそ大三島のいろんな面を見て欲しいです。大三島に来てもらえれば、必ずいい所だと分かるはずです。

